

平成23年度 道徳教育重点推進校事業実施報告書 (重点推進校用)

ふりがな	しまんとしりつなかむらみなみしょうがっこう	ふりがな	とくひろ じゅんいち
学校名	四万十市立中村南小学校	校長氏名	徳 弘 純 一

1 研究テーマ

「自己をみつめ 関わりながら きらり輝く心をもつ子どもの育成
～道徳授業と道徳的実践の指導の充実を通して～」
学級数：13学級 児童・生徒数：222名

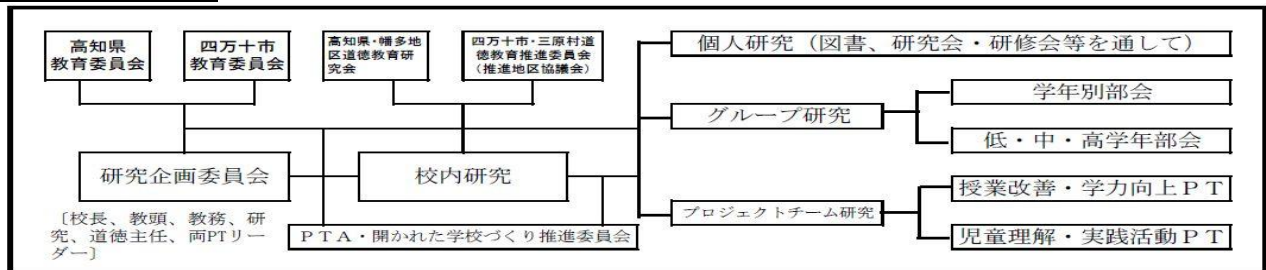
2 研究の概要

①研究の方法

校内研修において、全体研修、研究プロジェクトチーム及び学年部会研修を通して、研究内容の具体的な取組方策や授業研究等を実施する。また、高知県内外の道徳教育の各種研修会・研究会等への積極的な参加と、先進校の視察を行い、研修内容の報告をするとともに、長期休業中の校内研修や公開授業研究会等を通して講師を招聘し、道徳教育の理論と実践を学び、本校の取組への指導助言評価を受けながら、実践的に研究を進めていく。また、研究の進捗状況及び成果や課題については、各学期毎の校内研修総括及び道徳教育学校改善プランや実施報告書等の作成時に全員のものとするよう提案や協議を行う。なお、研究の検証方法としては、下記によって行うことにする。

- ・道徳授業力チェックシート(教師用)の実施(研究・公開授業、指導主事学校訪問授業他)〔年間〕
- ・道徳授業アンケート(児童生徒用)の実施(研究授業、公開授業他)〔年間〕
- ・児童生徒の意識等調査〔5月と1月〕
- ・学校評価アンケート調査(保護者、児童、地域、教職員)と自己評価書作成〔1・2月〕

②研究の実施体制



③取組内容

- 道徳の時間の年間指導計画の実践的な改善〔4月～3月〕と道徳教育統合指導計画の作成〔8月〕
- 心を耕す道徳授業づくり…道徳の時間の質的改善と充実(道徳授業力の向上)
 - ・担任や道徳教育推進教師による教材教具づくりや資料研究及び学習指導方法の研究〔年間〕
 - ・全学年の道徳研究授業(計7回)と公開授業(計3回)の実施〔5月～2月〕
 - ・低・中・高学年の各ブロックによる資料分析、学習指導案検討〔5月～2月〕
- 各種研修会・研究会等への参加と還元
 - ・道徳教育推進リーダー講座等高知県教育委員会主催研修会、高知県道徳教育研究会主催研究会、道徳教育重点推進校研究発表会等、県外視察研修(広島県宮園小学校、香川県長尾小学校、鳴門教育大学附属小学校)、市・幡多・県レベルの各種道徳教育研修会・研究会等への参加と、校内研修等での報告。
- 道徳的実践の指導の充実
 - ・道徳的実践の重点項目(あいさつ・学校美化・整理整頓・安全な歩き方)に関わる具体的指導方策の改善と実施〔年間〕
 - ・「きらりカード」による児童の道徳的な行為・行動の指導的な評価活動〔年間〕
 - ・児童会・委員会活動の活性化(クリーン作戦、あいさつ運動、募金活動、ブルタブ回収、わくわく(児童交遊)タイム、安全な廊下歩行他)〔年間〕
- 児童の道徳性の研究(意識調査等をもとにして)
 - ・「児童の意識調査」の実施と集計分析と今後の指導のあり方等の協議〔5月・1月〕
- 家庭・地域と連携した道徳教育の推進
 - ・「心きらり(道徳教育)参観日」の実施(道徳授業公開、全校児童集会活動:発表、SGA)〔2月〕
 - ・学校通信、学級・学年通信、保健便り等における道徳の指導内容の啓発〔年間〕

④普及の取組

- ・道徳教育公開授業研修会(研究授業、研究協議、講演)〔7月、11月、2月〕
- ・四万十市・三原村道徳教育推進地区協議会での報告や提起、授業提案〔5月、7月、1月、2月〕
- ・高知県道徳教育研究大会での実践発表〔12月〕
- ・西部教育事務所管内初任者研修会場校(道徳授業公開、研究協議、学習指導案作成他)〔10月〕
- ・他市町村道徳教育研究組織(宿毛市他)、校内研究(中村小学校他)での発表、指導助言〔10回程度〕

3 成果

①道徳教育推進体制づくり

●道徳授業の改善、道徳的実践の指導の充実、道徳教育全体の充実に向けて、校長の方針のもと、校内研修体制を整備し、研究企画委員会や道徳授業改善及び道徳的実践に関するPTを活用しながら、全教職員の参画により、学校全体で組織的に道徳教育を推進している。（自己評価4点満点中 3.8）

●道徳教育推進教師が、昨年度にも増して、教材教具及び参考資料の作成、研究物等の整理等、道徳教育推進のための校内環境整備に努めたほか、道徳授業の話題を学級担任等と話す機会を多くもつことで連携が深まり、教員全体の道徳教育への意識を高めることができた。（自己評価4点満点中 3.8）

②心を耕す道徳授業づくり

●道徳教育推進教師が、きめ細かに各学級の道徳授業の計画段階の相談助言や準備支援と授業後の振り返りにあたり、学級担任の授業改善意識を高めながら、道徳授業の日常的な充実を具現化してきた。

●道徳授業の質的改善のため、研究主任をリーダーに研究授業や公開授業を計画的に実施し、着実に授業研究を重ねた。今年度は、授業協議の視点に改善を加え、子どもや参観者による授業評価も活用し、また、研究協議の方法にも工夫を加えながら、研究協議の質が高まった。

●低・中・高学年のブロック研修など、少人数による研究活動も奏功して、道徳授業研究に関わる考え方（理論）や指導方策（方法）が豊かに語られ、一人一人の関与性や意識の高まりがみられた。

●今年度から始まった西部教育事務所指導主事2名の定期的な訪問指導と指導助言も各担任の授業力の向上と学校全体の授業改善のために貴重な契機となった。

●授業力診断シートについては、特に若手教員と転入教員の道徳授業力がアップしており、年度当初課題とされた学級間の格差が改善し、質が揃ってきた。また、児童による評価も、各要素とも概ね高得点をあげている。（以上道徳授業力総合診断シート総括表の結果）

③研究の普及

●年間3回（各学期1回）の道徳教育公開授業研究会を開催し、研究授業や研究協議を公開するとともに、全国レベルの講師を招聘し、道徳教育推進の視点や方向性、課題解決に向けた示唆をいただいた。

●四万十市・三原村道徳教育推進地区協議会、四万十市道徳教育研究会、幡多地区道徳教育研究会、高知県道徳教育研究会、高知県教育委員会、西部教育事務所等が主催する道徳教育に関する各種研究会や研修会に積極的に参加し、本校の研究実践の取組や進捗状況（成果や課題）等について、報告発表、授業提案、講話等、積極的な公開と情報提供に努めた。

●ホームページにおいて、道徳授業研究（学習指導案、板書、授業の様子等）、道徳的実践の指導（取組内容、児童の様子等）、道徳教育諸計画等を適宜、情報提供できた。（2年連続J-KIDS優秀校）

4 課題とその改善策

①学校全体で進める道徳教育の推進

●全体計画、統合指導計画、各教科等との関連表、道徳の時間の年間指導計画（特に主題配列）をもとに、指導の重点化と、学校行事、生活目標、学級活動等特別活動、各教科等の指導など他の教育活動との関連を深く意識した意図的計画的系統的な道徳教育の取組を推進していく。

●短期、中期のPDCAサイクルを生かし、児童、保護者、教職員の実態や意向も踏まえながら、より充実感のある教育活動にするよう総合的に学校改善を進め、その中に道徳教育をしっかりと意識して位置づけていく。特に、教育活動のスリム化と重点化に鋭意努める。

●道徳的実践については、児童会・委員会活動や学級活動等特別活動とも連動し、より質実な姿を求め、指導を強化する。特に、学級活動については、教職員で研修を深める。

②道徳教育推進のための指導体制づくり

●道徳教育に関する考え方、研究推進の方法は一段と進化し、共通理解が深まった。今後、指導体制を一層強化するためには、道徳教育推進教師の計画的で創造的な指導性の発揮、研究企画委員会のメンバーを核とした各担当及び両PTによる焦点化された研究推進が望まれる。

●これまでの指導及び研究実践上の課題を明確にし、その解決方策を具体的に検討し、全教職員の英知と能力・特性を生かして指導の充実を図る研修活動が必要である。

③心を耕す授業づくり

●日常的な道徳授業の充実のために、継続して、教材教具、参考資料、指導略案、板書記録等を残す。

●各学年の年間指導計画を綿密に見直し、より意図的統一的な指導計画と道徳の時間としていく。

●資料分析、指導内容・指導目標、発問、指導過程の研究をさらに深めるとともに、授業においては、表現（言語）活動をさらに意識して、児童の発表力を高める必要がある。

●ねらい、主題設定、研究主題との関連等がしっかりと研究構想され、表現された学習指導案作成に向け、相互研修を深める。また、今年度研修を深めた発達段階を踏まえた道徳授業、「価値理解、他者理解、自己理解」の考え方を生かした道徳授業をさらに深く追究したい。

●授業改善PTを中心に、これまでの研究実践の成果を生かし、本校としての道徳の時間の基本的・典型的な指導過程、効果的な指導方法を整理したい。

④重点推進校としての成果普及

●本校の研究テーマ及び研究推進の視点や取組方策、道徳授業の考え方や指導の手立て、道徳的実践の指導の重点や方策、児童の意識調査や授業力診断シート等の結果、その他の道徳教育の推進方策等について、わかりやすく図表化したり、ポンチ絵等に整理することで、共通理解を深めるとともに、他校にも有益で参考になる資料を作成する。

●校長、道徳教育推進教師以外の教員も、授業公開は勿論のこと、発表者、司会者、執筆者などを積極的に引き受け、本校の研究実践や自らの実践を公表し、情報提供するよう努める。

5 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組（組織づくり・校内研修等） ※内容・講師名等記載	公開授業研・研究発表会等 ※内容・参加者数等記載	公開授業研等の講師名等
4月	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ及び研究の視点の確定 道徳教育の全体計画、統合指導計画、年間指導計画、教科・領域等で行う道徳教育（以下「道徳教育諸計画」）の作成および改善 道徳教育学校改善プランの策定 ◎西部教育事務所指導主事学校訪問授業指導（～2月）		
5月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的実践を育てる教育活動の研究 道徳授業研究（5年）の実施 児童生徒の意識等調査（昨年度実施分）の分析と今後の方策 児童生徒の意識等調査の実施 		◆第1回県連絡協議会
6月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業研究（2年）の実施 第1回道徳授業公開研究会の開催 道徳的実践を育てる教育活動の研究 	授業公開（1年） 研究協議 講演 〔参加者21名〕	講師：森 有希指導主事 （高知県教育委員会小中学校課）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的実践を育てる教育活動の研究 道徳授業研究の中間整理（1学期授業研究の総括） 道徳の時間の年間指導計画他諸計画の見直しと改善（～8月） 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育講師招聘研修（広島県中之町小学校 高橋倫子教諭） 道徳教育統合指導計画の作成 道徳の時間の充実を目指した校内研究及び準備 道徳的実践を育てる教育活動の研究 		
9月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業の質的改善に向けた研究 道徳的実践を育てる教育活動の研究 道徳授業研究（5年）の実施 道徳教育学校改善プランの中間検証 		
10月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的実践を育てる教育活動の研究 道徳授業研究（2年）の実施 		
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回道徳授業公開研究会の開催 道徳的実践を育てる教育活動の研究 道徳授業の質的改善に向けた研究（県道徳研究大会発表準備） 	授業公開（6年） 研究協議 講演 〔参加者18名〕	講師：日下 哲也校長 （香川県高松市上西小学校）
12月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業の質的改善に向けた研究（県道徳研究大会発表準備） 道徳授業研究（4年）の実施 先進校視察、研究発表会参加の報告研修 道徳授業研究の中間整理（2学期授業研究の総括） 道徳の時間の年間指導計画他諸計画の見直しと改善（～1月） 道徳的実践を育てる教育活動の研究 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間の充実を目指した研究及び準備 道徳授業研究の実施 道徳的実践を育てる教育活動の研究 児童生徒の意識等調査、学校評価アンケートの実施 道徳教育学校改善プラン検証シートの作成 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> 道徳参観日の実施（保護者・地域への道徳授業公開） 研究発表会参加の報告研修 第3回道徳授業公開研究会の開催 道徳的実践を育てる教育活動の研究 児童生徒の意識等調査、学校評価アンケートの集計・分析 第2年次研究の総括（成果と課題）及び次年度の方向性 次年度の研究体制づくり 	授業公開（3年） 研究協議 講演 〔参加者26名〕	◆第2回県連絡協議会 講師：島 恒生教授 （畿央大学教育学部）

※公開授業研は、校外に案内する会

6 道徳教育推進教師の活用（別業とすること）

しめいふりがな	そうぎき ゆきえ
道徳教育推進教師 職・氏名	職（教諭）氏名（宗崎幸枝）

※道徳教育推進教師が複数いる場合は、主担当者について記載し、副担当者については以下に補足すること。

※計画書に記載してある取組目標や内容の達成・実施状況を具体的に記載すること。

（1）「道徳推進リーダー育成研修」（昨年度受講分）の校内伝達

①校内研修において、昨年度の研修内容の中から必要と思われる内容を報告（資料提供含む）した。
②両プロジェクトチーム会議への参加や、講師の選定を含めた研究推進の企画立案への参画をはじめ、昨年度の研修内容を生かした校内研修及び授業研究の推進に努めた。

（2）道徳教育担当教員としての研修会参加並びに公開授業研究会の企画実施及び広報活動

①四万十市・三原村道徳教育推進地区協議会、高知県道徳教育研究会夏季研修会及び冬季研究大会、高知県内における道徳教育重点推進校研究発表会や道徳推進リーダー公開研修会、県外先進地視察（広島県宮園小学校）等に参加し、本校からの情報発信に、校内においては研修内容の報告に努めた。
②公開授業研究会（学期1回）の総括担当として、企画立案実施にあたり、要の役割を果たした。
③本校の道徳教育の取り組み内容をホームページ等に公開するなど、情報発信に努めた。

（3）道徳教育の諸計画の作成及び改善と充実に向けた企画立案・指導助言

①校長の方針を受け、道徳教育の全体計画の見直しにあたり、今年度は、教頭とともに道徳教育に関する統合指導計画の作成にあたった。
②道徳の時間の準備・授業実践と反省をもとに、「心のノート」の活用や教科・領域等で行う道徳教育との関連も考慮した年間指導計画の改善と充実に向けた提案、改善への支援にあたった。
③管理職とともに、各種計画の実施及び具現化の状況を把握し、適宜、教職員への働きかけ（指導や評価等）を行った。

【学校全体で組織的に道徳教育に取り組むためのアプローチ】

- ・校長の方針のもと、諸計画の立案や改善、実施状況の把握について、企画提案を行い、各リーダーや全教職員の意見を踏まえて、より充実した内容のものを創り上げていくよう連絡や調整に努めた。
- ・常に、評価→改善→計画→実施のサイクルを意識した柔軟な姿勢をもって、計画の立案や実施にあたってきた。

（4）道徳授業への参画と指導支援

①各学年・学級の道徳授業づくりに関わり、日常的な道徳授業参観と、時に、自ら授業提案（研究授業含）やティーム・ティーチングによる授業参画を果たした。
②年間を通して、資料研究及び指導内容・指導方法（発問、板書他）に関わる学級担任との事前研究と協議、授業の準備等の支援を行った。また、授業後の研究協議に関わり、指導助言に努めた。

【道徳授業改善のためのアプローチ】

- 1 児童が意欲的に取り組む道徳の時間とするために、
 - ・導入や展開後段・終末の工夫、資料提示の工夫、基本発問及び中心発問の工夫、切り返しやゆさぶりの発問、児童の学習活動に対する評価のあり方等を意識して、授業者に助言してきた。
- 2 児童が他の人の考えを聞きながら、自分のことについて考える道徳の時間とするために
 - ・学習規律（聞き方、話し方、関わり方等）、児童の発言の生かし方・つなげ方、自己をみつめる展開後段や終末のあり方等を意識して、授業者に指導助言してきた。
- 3 教員の道徳授業力向上のために
 - ・授業力チェックシートの観点（子ども理解、教材の研究・開発、授業構成、指導技術、学習集団の組織、保護者や地域との連携、授業評価）や本校の道徳授業参観の観点（指導内容・内容項目の視点に基づく資料分析、発問の工夫と指導過程の工夫、価値理解・他者理解・自己理解を促す工夫）をもとに、指導助言を行った。なお、今年度は、西部教育事務所2名の指導主事が月2回程度の学校訪問指導を行い、その際の授業観察及び指導助言の内容（専用の評価シート含）を活用して、各教員の道徳授業力の向上に努めた。

（5）道徳授業力総合診断及び児童生徒の意識等調査の実施と集計及び分析（授業改善・学力向上研究プロジェクトチームへの支援）

- ①道徳授業力総合診断の実施方法、集計方法を企画し、集計及び分析にあたった。
- ②児童生徒の意識等調査の実施方法、集計方法の企画提案と実施にあたり、集計分析を担当した。
- ③①②の集計分析結果に基づき、研究推進の評価及び改善の方策の策定に活用した。

（6）道徳実践の充実を目指す取組の支援及び指導助言（児童理解・実践活動研究プロジェクトチームへの支援）

- ①道徳実践の充実を目指す教育活動の検討にあたり、企画立案の指導助言や推進にあたった。
- ②各担当とともに、体験活動、学校行事等の改善と充実のための検討にあたり、推進にあたった。

（7）家庭・地域と連携して推進する道徳教育の企画立案と実行（管理職と協働）

①管理職とともに、家庭・地域との連携の具体的方策の検討を行い、企画立案と実施にあたった。
②道徳教育（「心きらり」）参観日の企画立案を行い、総括担当として実施に尽力した。
③管理職とともにPTA組織及び開かれた学校づくり推進委員会組織との連携を図る方策の検討を行い、企画立案実施に参画した。

7 添付資料

※別紙添付資料一覧に記載されたものを添付すること